

「政策の目標」	政策目標 5 - 3 : 関税等の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関手続における利用者の利便性の向上			
	(評価書 345 頁)			
評価意見				
評価基準ごとの審査		評価の判断理由等		
1 「政策の目標」の達成度				
A 達成に向けて相当の進展があった。				
業績指標	目標値	実績値		
事前教示制度の運用状況 (事前教示に一定期間内で回答した割合)			(基本的状況) 経済のグローバル化・物流の高度化等が進展する中で、貿易手続の効率化など我が国の競争力強化を図るとともに、関税等の適正な賦課・徴収や水際取締りの強化を行うなど、「税」・「関」・「貿易円滑化」の3点につき、効率的・効果的に取り組んでいく必要がある。	
文書	99.9%	99.9%		
処理日数	15 日	14.3 日		
口頭	99.9%	99.7%		
不正薬物の水際押収量の割合(過去5年間)	向上 (80.4%) (15~19年)	77.3% (16~20年)	(20年度の運営概況) 事後調査等に重点的に取り組むことにより、関税等の適正な賦課・徴収に努めた。また、貨物や旅客の事前情報をより早く入手し、取締対象を絞った取締りを実施するなど、効率的・効果的な取締りを実施した。更に、AEO制度の拡充等を盛り込んだ21年度関税改正を行うなど、国際競争力強化及び水際取締りの充実等に努めた。加えて、独立行政法人通関情報処理センターの業務運営の更なる効率化等を図るため、民営化を行った。	
事前選定による検査指数	168	201		
大型X線検査装置による検査指数	115	109		
密輸摘発事案のうち情報を活用したものの割合			(達成度に係る評価の理由等) 我が国の国際競争力強化及び利用者の利便性向上を図る観点から、21年度関税改正において、AEO制度の拡充等を行ったほか、制度内容の積極的な周知等に努め、14個ある業績指標のうち、13の指標で達成あるいは達成に向けて前年度を上回る進展があり、加えて、独立行政法人通関情報処理センターの民営化を計画通り達成していることから、これらを総合的に勘案し、「A 達成に向けて相当の進展があった。」と評価した。	
情報を活用したもの	20%	17.7%		
事前情報を活用したもの	25%	25.0%		
簡易申告制度の利用状況 (特例輸入者数)	70者	72者		
特定輸出申告制度の利用状況 (特定輸出者数)	140者	205者		
特定保税承認制度の利用状況 (特定保税承認者数)	40者	55者		
輸出入通關における利用者満足度			(今後の課題) 社会悪物品等の水際取締りについては、引き続き情報を活用したりスクの高い貨物に対象を絞り込んだ重点的な取締りを行っていく。	
輸出入者	30.0%	28.5%		
通関業者	40.0%	37.2%		
税関ホームページへのアクセス状況			AEO制度については、税関ホームページ等を通じてそのPRに努め、制度利用の拡大に努める。	
アクセス件数	126,000,000件	120,448,937件		
訪問者数	1,670,000件	1,910,341件		
輸出入通關制度の認知度			更に、Sea-NACCSとAir-NACCSを統合し、一つのシステムとすると共に、シングルウインドウについては、稼働後においても引き続き見直しを行い、JETRAS等関係省庁システムの統合を行う。	
事前教示制度	70.0%	70.4%		
他法令手続のコピュータシステムによる税關への証明	70.0%	67.7%		
納期限延長制度	80.0%	75.8%		
特例輸入申告制度	80.0%	86.3%		
特定輸出申告制度	70.0%	75.8%		
特定保税承認制度	70.0%	59.5%		
密輸取締り活動に関する認知度	80.0%	80.0%		
税關相談制度の運用状況 (税關相談についての利用者満足度)	60.0%	61.0%		
カスタムスアンサー(インターネット版)利用件数	178,000件	181,752件		
2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性			(事務運営プロセスに係る評価の理由等)	
適切であった。 有効であった。 効率的であった。			(適切性) 適正かつ円滑な国際物流の実現や利用者の利便性向上を図るために、税關手続の改善、積極的な情報提供等を適時適切に実施するとともに、各種X線検査装置を活用するなど効率的な社会悪物品の水際取締りに努めた。	
			(有効性) ホームページによるタイムリーな情報提供や構成の見直し、税關相談への的確な対応のための職員の法令知識等の充実、事前教示の適切な日程管理等を着実に実施した。	
			重点的な審査・検査の実施、検査機器の有効活用等により、迅速	

	<p>な通關が確保されている。また、的確なシステム処理が行われている。</p> <p>(効率性)</p> <p>税関手續の改善のほか、税関システムを更改し関係省庁のシステムと一体的運営を行うなど、制度とシステム双方のバランスがとれた施策を実施するとともに、事前情報を活用する等効率的な水際取締りに努めた。</p>
3 結果の分析の的確性 的確に行われている。	<p>(結果の分析の的確性に係る評価の理由等)</p> <p>税関手續や水際取締り及び情報提供について多くの業績指標を設定するとともに、アンケート調査も実施し、各指標の実績について的確に分析した上で、未達成の目標については、原因について明記している。</p>
4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言 政策について有益な提言がなされている。	<p>(今後の提言等)</p> <p>(政策の改善)</p> <p>指標の分析を踏まえ、AE0制度がより一層活用されることを目指すとともに、各種税関手續等の利用者満足度の更なる向上を図る。また、事前情報等を活用したより効率的な取締りに努める。</p>
講評 (財務省の政策評価の在り方にに関する懇談会)	14 の業績指標のうち目標を達成できていないものが複数みられる。色々頑張っていることは理解できるところから、達成度を「A」にするに当たって、説明を工夫すべきではないか。 「輸出入通關における利用者満足度」の満足度が上昇しているとはいえ、従来の改善策では対応できない抜本的な取り組みが必要である。アンケート調査の質問項目をさらに分析して対応を検討していただきたい。